

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月20日(月)

事務事業		特産物PR事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	3707
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり		根拠法令 個別計画等				
	小項目	2	農畜産物の販売流通体制の充実						
	主要プロジェクト	3	花園！C拠点発！元気な産業ふかやプロジェクト						
事業概要		市内農畜産物の消費拡大及び産地としての認知度向上を図るため、市内及び市外消費者に対して、各種プロモーション事業を実施し市内農畜産物のPRを行うものである。							
目的 ※何のために		市内農畜産物のPRによる消費拡大及び産地としての認知度向上を図るため。							
対象 ※誰・何を対象に		市内および市外の消費者							
手段 ※どのように		各種プロモーション事業を実施し市内農畜産物のPRを行う。							
成果 ※何を求めるか		市内農畜産物がより多くの消費者に認知され、消費の拡大が図られる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
		一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	特産物PR事業		3,414,689	
本事業の 主な業務		・特産品の情報発信（HP、FBなど）				・			
		・販売促進に係るPR業務（出張博覧会、全国ねぎサミットなど）				・			
		・ふっかーゴの管理、貸出				・			
		・メディア対応				・			
		・生産者、消費者アンケートの実施				・			
		・				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・出張博覧会全国ねぎサミット・各種イベント参加	・出張博覧会全国ねぎサミット・各種イベント参加	・出張博覧会全国ねぎサミット・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・各種イベント参加・花き活用拡大支援	・渋沢栄一の郷深谷博覧会・農業王国ふかやマルシェ・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加
事業費	予算（現額）	4,164,000	3,952,000	4,624,000	9,802,000	5,572,000	4,813,000
	決算額	2,662,064	3,211,035	4,039,558	9,102,224	3,414,689	0
	財源内訳	国支出金	0	0	6,400,000	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	2,990,000	2,066,000	1,873,000	2,998,000	5,648,000
		一般財源	-327,936	1,145,035	217,224	416,689	-835,000
人件費	従事職員数（人）	0.88	1.07	1.01	1.49	1.32	1.32
	人件費相当試算※	6,845,520	8,326,740	8,186,050	12,122,640	10,245,728	10,733,379
総事業費試算		9,507,584	11,537,775	12,225,608	21,224,864	13,660,417	15,546,379

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	農畜産物PR事業数		目標値	件						
			実績値		23	25	15	8	17	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度ごとに事業数が変動するため、目標値を設定しない / PR事業体系別集計							
	実績値の算出式									
活動指標 2	農畜産物メディア取り上げ数		目標値	回						
			実績値		29	32	36	26	10	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		コントロールできないため目標値を設定しない / PR事業体系別集計							
	実績値の算出式									
成果指標 1	農畜産物PR事業の来場者数		目標値	千人						
			実績値		259	304	352	10.25	40.52	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		コントロールできないため目標値を設定しない / 参加事業PR実績来場者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	市内農畜産物の購入を心掛けている人の割合		目標値	%						
			実績値		66.9	61.4	64.1	65.7	63.4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		コントロールできないため目標値を設定しない / 深谷市民まちづくりアンケート							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	新型コロナウイルスの感染拡大により行動制限のかかる中、感染対策を講じながらプロモーション事業（イベント）を実施し、また市外で行われるイベント参加にも工夫を加え、農畜産物のPR事業を行った。また、SNS等を活用し生産者情報や農畜産物情報の発信を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルスの感染拡大により行動制限がかかり、大規模なプロモーション事業の実施や集客が見込まれる首都圏開催のイベントへの参加が減少したことで、市内農畜産物の魅力を消費者に直接PRを行えなかったことで、消費者への認知度向上につながらなかった。
			評価者 特産係長 荒木 守

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	イベント開催による認知度向上を図るばかりでなく、SNS等の効果的な活用や新たな販路を見出せるよう情報収集を行い、更なる認知度向上・消費拡大につなげていく必要がある。
			評価者 特産係長 荒木 守

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	農業シンデレラ等の生産者が出店しやすくなるように、「イケ・サンパークファーマーズマーケット」をはじめとした都内でのイベント等におけるPR方法と販売品の運搬方法を検討する。
達成状況及び その効果	PR用ラッピングトラック「ふっカーゴ」を活用することで、販売品の運搬を行うことができ、農業シンデレラ等の生産者が出店しやすくなり、都内で行われた「イケ・サンパークファーマーズマーケット」に計5回出店し農産物のPRを行うことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	特産物PR事業	担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	3707
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		新型コロナウイルスの感染拡大により行動制限がかかるなかで、イベントの実施や参加に工夫を加えた他、SNS等の活用や芸能人の情報発信効果を活かした新たな取り組みを行うことができた。今後は、消費者のもとに直接農畜産物が届くような新たな販路を構築できるよう、広く情報収集を行っていく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	農業振興課長 三ツ橋 正記				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	プロモーション事業において、SNS等のフォロワー数が増加する方法を検討する。深谷テラスパークを活用し「農業王国ふかやマルシェ」を実施し、消費の拡大・認知度向上を図る。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	「ふかや花園プレミアム・アウトレット」や首都圏で開催されるイベントを活用し「農業王国ふかやマルシェ」を実施し、生産者自らが消費者に農畜産物の魅力を発信し、消費の拡大、認知度向上につなげていく。

8. 評価指標グラフ

